くみあいNEWS☆

WWU
WAKAYAMA WORKERS' UNION

第１５２５４号
2021年7月20日(火)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部

組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区（本部）（54）－3590
堺地区　652990 ／海南地区（54）－5555

7月より
和歌山労組夏期安全強化活動スタート!

和歌山労組は、7月1日(木)から8月31日(火)の2ヶ月間に亘り、夏期安全強化活動として、「統一安全ビラ配布」「執行部・支部長合同早朝門前立哨」「安全激励巡視」等を実施しています。

今回の「安全激励巡視」は執行部が4班に分かれ、各室・工場を当該の支部長と一緒に巡視し、組合員の皆様に「安全及び激励の意味を込めた声掛け」を行っていきます。



【執行部･支部長合同早朝門前立哨(和歌山地区北門)】

我々、労働組合の願いは、「関西製鉄所和歌山地区で働く全ての皆様が元気に出勤し、笑顔で帰宅する」ということであり、労働組合の顔の見える安全活動を中心に現場へ足を運び、各職場の状況を把握し、「我々の仲間に、一人たりとも痛い思いをさせない！」という強い信念のもと、世界一安全な職場環境の確立をめざすべく、更なる安全取り組みを展開して参ります。



【執行部・支部長合同早朝門前立哨(堺地区南門)】

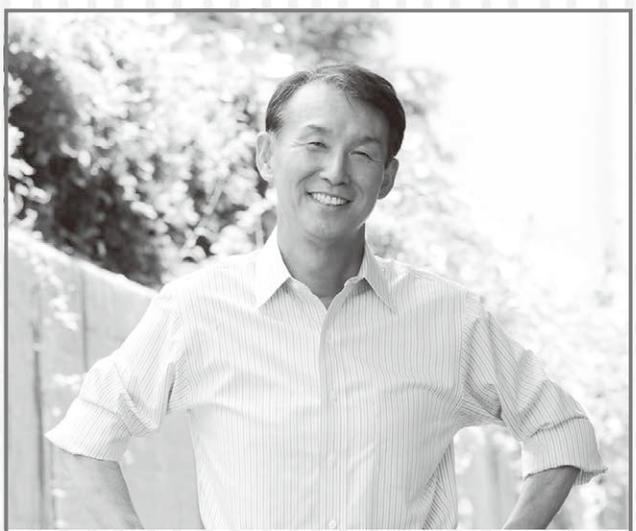
また、関西製鉄所和歌山地区においては、依然として不休災害や一歩間違えれば大きな怪我につながっていた軽処置災害が発生しており、予断を許さない状況にありますので、全社共通遵守事項（安全6則）等の決められたルールの再徹底をお願いします。これからの暑い季節は、疲労の蓄積により、注意力や判断力が低下しやすい傾向にありますので、適度な休憩とこまめな水分補給を行ってください。加えて、手洗い、うがいを励行し、帰宅後は睡眠と休養を十分に取るなど体調管理にもご留意ください。

引き続き、労働組合は積極的に安全取り組みを展開して参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。


【執行部・支部長合同早朝門前立哨(和歌山地区東門)】

『岸本周平』衆議院議員活動報告

今こそ国会を開いて、コロナ対策の議論を！



衆議院議員・こくみん民主党和歌山県連代表
岸本　周平（きしもと　しゅうへい）

先月、通常国会が閉会しました。しかし、緊急事態宣言が出されている中での国会の閉会は理解に苦しみます。今でも、沖縄には緊急事態が、東京、大阪などにはまん延防止等重点措置が発令されています。

7月23日から始まる東京オリンピックの感染防止対策についても百家争鳴（ひゃっかそうめい）(※1)の状態。会場内での酒類の販売で二転三転。来日した選手団から、すでに陽性患者が複数出ていますし、その濃厚接触者の扱いも不透明。東京でのまん延防止等重点措置の延長が予想される中、未だに観客を入れるかどうかも決まっていません。本来、国会を開いてコロナ対策やオリンピックの問題を議論すべきです。欧米先進国に比べて、数か月出遅れたワクチン接種も現場力で徐々に進んできました。しかし、ここにきてモデルナのワクチンを使う職域接種の新規受付ストップ。さらに、自治体向けのファイザーのワクチンも供給量が自治体の希望量に追いつかない事態になりました。

7月19日から供給予定のワクチンは希望量の3分の1。自治体では、新規予約を停止したり、個別接種の病院現場も混乱しています。日本の官僚システムがここまで劣化しているとは思いませんでした。一度戦線を整理して、立て直す必要がありますが、担当大臣は誰かもわかりません。ワクチンも頼りにならなければ日本経済が破たんします。営業の時短や酒類の販売の制限をお願いしている飲食店に加え、損害を受けている業者には事業規模別に適正な補償を行い、持続化給付金等の再支給や困窮者支援を充実させるために補正予算をつくるべきです。

米国のバイデン大統領は、コロナ対策としての家計への給付金やインフラ整備、半導体産業などの支援のために総額で300兆円をはるかに超える経済対策を打ち出しました。一方、日本では、コロナ対策の予算73兆円のうち予備費約30兆円を使い残しています。家計や企業への直接の支払いはこれまで約35兆円と名目GDPの7%程度。GDPの13%を支出した米国と比べ財政出動の効果が見劣りします。今こそ、強力な経済対策が必要です。

私は衆議院本会議も含め、予算委員会、内閣委員会で何度も質疑に立ちましたが、行政を監視する国会の役割は重要です。議員立法にもたずさわり、立法機関としての仕事もしてきました。民主主義の基本である国会の開会を強く要請します。



（※1）百家争鳴…いろいろな立場にある人が自由に議論をたたかわせること

村田きょうこ活動報告

我々の上部団体である基幹労連・日本製鉄労連は、第 26 回参議院議員選挙における立候補予定者として「村田きょうこ」氏の推薦決定を行っており、和歌山労組としても、中央委員会において「村田きょうこ」氏の推薦決定を行ったところです。

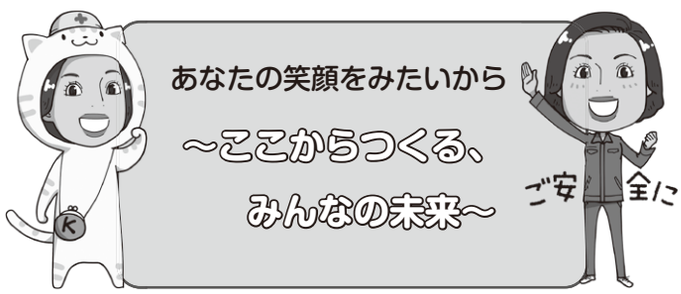
「村田きょうこ」氏は、基幹労連の政策を全面的に理解し支持しており、政策課題の実現のために役割を果たす意志を強く表明されました。また、政策制度・産業政策課題実現の取り組みにおいて密接に関わる人物であることから、和歌山労組として全力で応援して参ります。



【写真左：山本組合長 写真右：村田きょうこ氏】

「村田きょうこ」の政策

- 大切な人の命や健康を守る社会
- 産業・企業の発展
- 仕事と子育て・介護の両立
- 安心の社会保障制度
- 公平で納得性のある税制
- 政治をもっと身近に



生活総点検活動進捗状況の報告

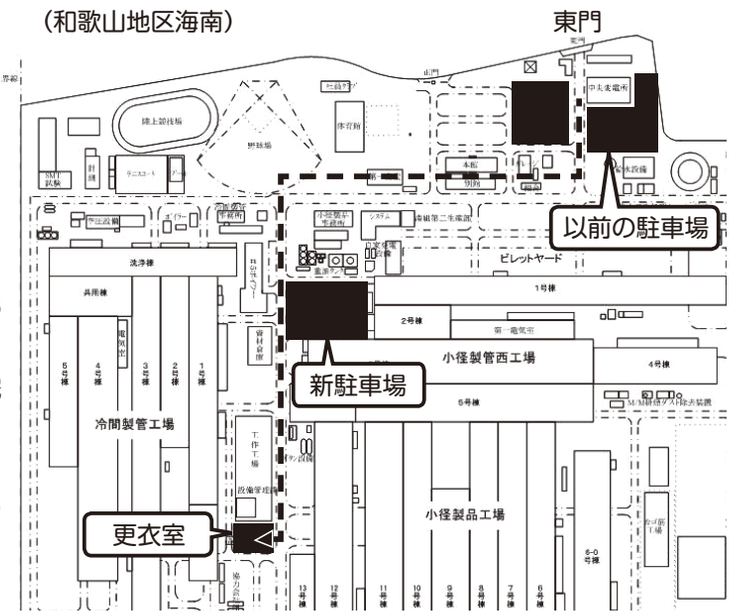
和歌山労組は、「職場環境、労働条件、地域生活環境、国の政策制度・産業政策」などに関する課題・問題を掘り起こし、課題解決を図ることで組合員とその家族の総合的な生活改善をめざすべく、生活総点検活動を推進しています。その進捗状況を一部紹介させていただきます。

【内容】
海南小径製品工場の更衣室と駐車場までの距離が約 1㎞と遠く、更衣室の近くに駐車場を設置してほしい。

組合ニュース第 15240 号（2021 年 1 月 28 日発行）で、進捗状況を紹介させていただきましたが、会社の協力もあり、先日、駐車場が完成しました。

組合員の方からは、「駐車場が近くなり嬉しい」との声をいただいております。和歌山労組は、今後も皆さんからの意見・要望を精査・点検した上で改善に向け取組んでいきます。

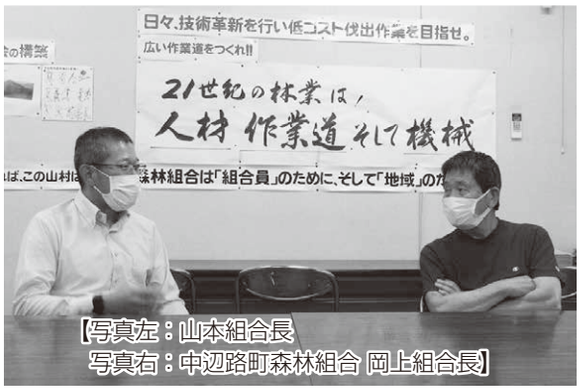
（和歌山地区海南）



中辺路町森林組合に訪問しました

和歌山労組は例年８月頃に「日本製鉄和歌山の森」の下草刈りを実施し、環境保全の取組みについて理解して頂くとともに、日頃から森の管理にご尽力頂いている中辺路町森林組合の皆さんとの交流を目的として下草刈りを実施しています。

しかしながら、依然として新型コロナウイルス感染症の拡大は収束しておらず、昨年に続き、本年においても「日本製鉄和歌山の森」下草刈りを中止することといたしました。



【写真左：山本組合長
写真右：中辺路町森林組合 岡上組合長】


【日本製鉄和歌山の森】

中辺路町森林組合の皆様には、「日本製鉄和歌山の森」の植樹や草刈りなどの日常管理をお願いしており、当社における環境保全活動に多大なるご尽力をいただいていることから、和歌山労組として日頃の感謝を伝えるべく、ご挨拶に伺って参りました。中辺路町森林組合の皆様からは、「来年こそは日本製鉄の皆さんにお会いし、一緒に下草刈りを実施できればと思っています。コロナに負けずに共に頑張りましょう！」と力強いお言葉をいただきました。

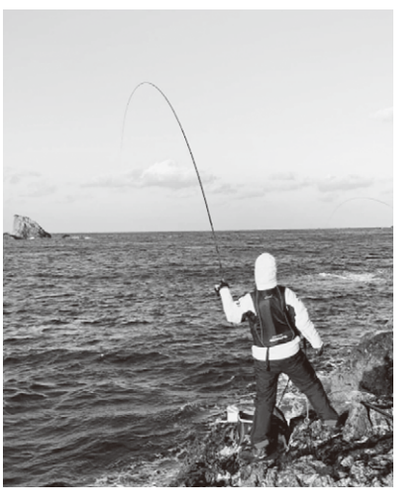
組合員投稿コーナー

今月は、「わたしの趣味」をテーマに投稿を頂きました！



ご安全に！ 中径製管支部の西本 頼人です。

私の趣味は釣りです。その中でも磯釣りといわれるものが好きで、普通の波止場などとは違い周囲すべてが大自然という環境で、普段体験できない非日常を味わえるのが醍醐味です！



２年前から磯でのフカセ釣りを初め、グレや黒鯛、真鯛といった上物をターゲットにして頑張っていますが、経験が浅いため中々思うような釣りが出来ない事が多いです。しかし、意外と釣れない時の面白みもあります。仕掛けを組み直したり、仲間と磯の上でカップラーメンを食べたり昼寝をしたりと楽しみ方も無限大です。

最近は新型コロナウイルスの影響で釣りに行ける機会が少ないですが更なる大物を求めて釣りライフを満喫します‼